

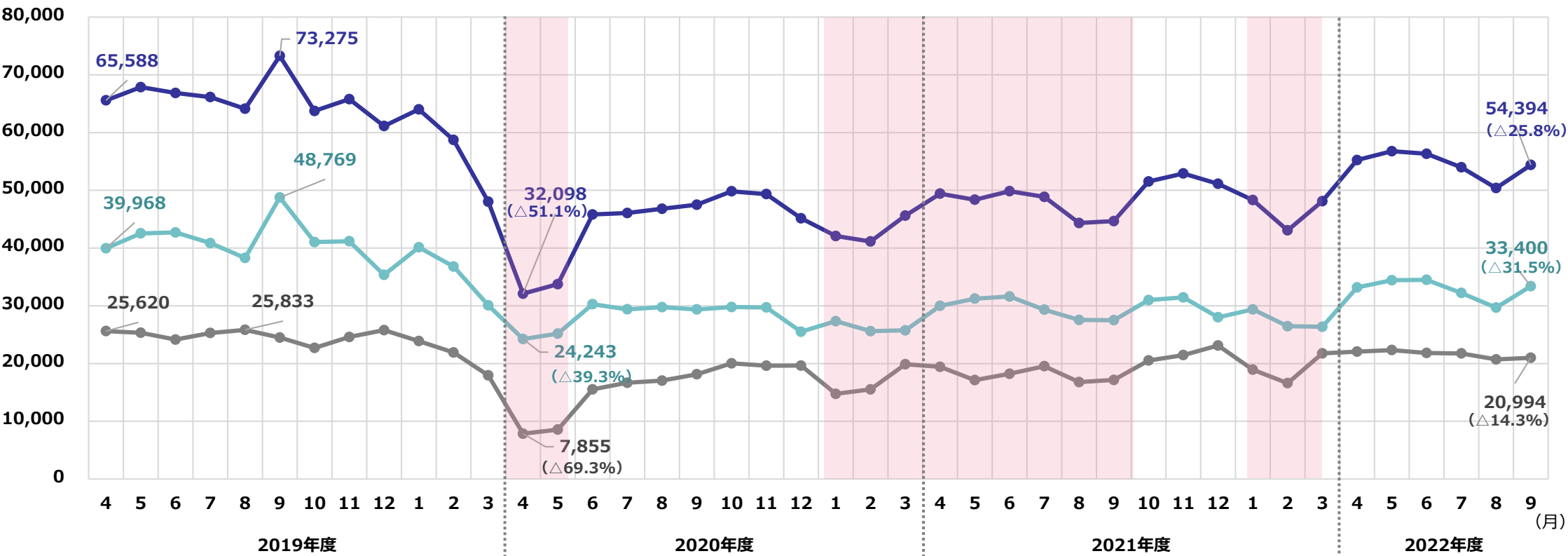


2023年3月期 第2四半期
決算説明資料

2022年10月28日

<小田急電鉄 輸送人員>

(千人)



● 定期 ● 定期外 ● 定期・定期外計
 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置 発出期間

※ () 内は対2019年度同月
 ※ 2019年9月は消費増税に伴う定期券先買いの影響有り

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減	4月時点見込	増減
営業収益	174,777	189,984	+15,207 (+8.7%)	195,500	△5,515 (△2.8%)
運輸業	62,749	73,919	+11,169	77,200	△3,280
流通業	49,747	49,957	+209	53,600	△3,642
不動産業	42,346	38,556	△3,790	35,500	+3,056
その他の事業	33,161	40,197	+7,035	42,400	△2,202
調整額	△13,227	△12,645	+582	△13,200	+554
営業利益	2,808	14,512	+11,704 (+416.7%)	14,800	△287 (△1.9%)
運輸業	△2,945	6,188	+9,134	7,900	△1,711
流通業	108	1,116	+1,007	1,800	△683
不動産業	11,364	9,738	△1,625	8,000	+1,738
その他の事業	△5,741	△2,553	+3,187	△2,900	+346
調整額	23	23	-	0	+23
経常利益	2,547	14,736	+12,189 (+478.5%)	14,000	+736 (+5.3%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,986	10,086	+2,099 (+26.3%)	7,600	+2,486 (+32.7%)
設備投資額	20,075	20,955	+880		
減価償却費	24,193	23,524	△669		
有利子負債残高	756,537※	748,927	△7,610		

※ 2021年度末

<営業外・特別損益>

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減・主な要因	
営業外収益	2,855	3,532	+676	助成金収入 780 (+780)
営業外費用	3,117	3,308	+191	
特別利益	14,328	2,747	△11,580	固定資産売却益 1,924 (△1,238) 工事負担金等受入 492 (△239) 投資有価証券売却益 271 (△7,271)
特別損失	1,597	1,860	+263	固定資産除却損 987 (+813) 固定資産圧縮損 458 (△221)

<連結範囲および持分法の適用の異動状況（対前期末）>

連結子会社 37社（1社減）

（減少） 箱根ロープウェイ(株) : 箱根登山鉄道(株)と合併（2022年4月）

持分法適用会社 1社（変更なし）

<連結貸借対照表>

単位：百万円		2021年度	2022年度 第2四半期	増減・主な要因	
流動資産		125,542	128,866	+3,324	
固定資産		1,159,687	1,153,568	△6,119	
資産合計		1,285,230	1,282,434	△2,795	現金及び預金 +4,298 有形固定資産 △4,286
流動負債		340,182	408,095	+67,912	
固定負債		595,789	519,041	△76,748	
負債合計		935,972	927,136	△8,835	有利子負債 △7,610
純資産合計		349,257	355,297	+6,040	利益剰余金 +6,430
負債純資産合計		1,285,230	1,282,434	△2,795	

<連結キャッシュ・フロー計算書>

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減・主な要因	
営業キャッシュ・フロー	20,202	27,912	+7,710	
投資キャッシュ・フロー	△12,401	△11,855	+546	(+)設備投資支出の減少 (△)投資有価証券売却収入の減少
財務キャッシュ・フロー	△26,274	△11,759	+14,514	(+)借入れ・社債等発行収入の増加
現金及び現金同等物の増減額	△18,473	4,298	+22,771	
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,793	26,150	△4,643	

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	62,749	73,919	+11,169 (+17.8%)		77,200	△3,280 (△4.2%)	
鉄道業	47,417	55,744	+8,326	(+)当社定期外収入の回復 +5,855	58,100	△2,355	(△)感染再拡大による回復の遅れ
バス業	13,555	15,553	+1,997	(+)利用者数の回復	16,000	△446	
その他	1,775	2,621	+845		3,100	△478	
営業利益	△2,945	6,188	+9,134 (-)		7,900	△1,711 (△21.7%)	
鉄道業	△21	6,129	+6,150		7,600	△1,470	
バス業	△2,031	157	+2,189		200	△42	
その他	△892	△98	+794		100	△198	

設備投資額	9,808	8,448	△1,359
減価償却費	16,123	15,461	△661

<フリーパス売上枚数 (対前年) >

箱根フリーパス	+96.6%
江の島・鎌倉フリーパス	+83.9%

<小田急旅行センター利用者数 (対前年) >

乗車券等の購入者	+75.9%
----------	--------

<箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
箱根エリア※	4,655	6,806	+2,150

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

(参考) 箱根交通各社合計輸送人員 対前年 +23.5%

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	177,239	197,408	+20,169	(+11.4%)	(△22.0%)
通勤定期	127,882	136,342	+8,460	(+6.6%)	(△23.9%)
通学定期	49,357	61,066	+11,709	(+23.7%)	(△17.4%)
定期外	108,278	129,700	+21,422	(+19.8%)	(△14.0%)
合計	285,517	327,108	+41,591	(+14.6%)	(△19.0%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	18,096	19,264	+1,167	(+6.5%)	(△23.8%)
通勤定期	15,607	16,109	+502	(+3.2%)	(△24.9%)
通学定期	2,488	3,154	+665	(+26.8%)	(△17.2%)
定期外	24,486	30,342	+5,855	(+23.9%)	(△16.7%)
旅客運輸収入計	42,582	49,606	+7,023	(+16.5%)	(△19.6%)
運輸雑収	1,703	1,519	△183	(△10.8%)	(△19.7%)
運輸収入合計	44,285	51,125	+6,839	(+15.4%)	(△19.6%)

■ 営業費

単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
営業費合計	43,266	45,061	+1,795
人件費	12,146	13,116	+969
修繕費	2,418	2,204	△213
動力費	2,402	3,417	+1,015
固定資産除却費	318	285	△33
減価償却費	12,581	12,213	△368
その他	13,398	13,824	+425

セグメント情報 (流通業)



単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	49,747	49,957	+209 (+0.4%)		53,600	△3,642 (△6.8%)	
百貨店業	15,375	16,615	+1,240	(+)利用者数の回復 (+)前期一部売場臨時休業	18,900	△2,284	(△)感染再拡大による回復の遅れ
ストア・小売業	30,720	29,688	△1,031	(△)ベーカリー事業の営業終了 (+)駅構内コンビニの利用者数回復	31,000	△1,311	(△)内食需要の減退
その他	3,651	3,652	+0		3,700	△47	
営業利益	108	1,116	+1,007 (+924.4%)		1,800	△683 (△38.0%)	
百貨店業	10	1,050	+1,040		1,100	△49	
ストア・小売業	143	△0	△144		700	△700	
その他	△44	66	+111		0	+66	
設備投資額	544	605	+61				
減価償却費	1,351	1,212	△139				

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

単位：百万円	2022年度 第2四半期	増減
新宿店	9,959	6.6%
店頭	9,723	6.6%
町田店	4,246	13.6%
ふじさわ	932	4.2%
その他	1,478	5.7%
合計	16,615	8.1%

<ストア・小売業：小田急商事ストア部門取扱高（対前年）>

全店	△1.4%
既存店	△1.4%

セグメント情報（不動産業）



単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	42,346	38,556	△3,790 (△9.0%)		35,500	+3,056 (+8.6%)	
不動産分譲業	20,926	16,175	△4,751	(△)計上戸数減 (+)投資用不動産の売却	13,900	+2,275	(+)計上戸数増 (+)投資用不動産の売却
不動産賃貸業	21,419	22,381	+961		21,600	+781	
営業利益	11,364	9,738	△1,625 (△14.3%)		8,000	+1,738 (+21.7%)	
不動産分譲業	2,884	1,623	△1,260		100	+1,523	
不動産賃貸業	8,480	8,115	△364	(△)新規開業物件費用増	7,900	+215	

設備投資額	9,211	8,531	△679
減価償却費	4,675	5,019	+343

<不動産分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
戸建	40	42	+2
マンション	266	107	△159
土地	125	22	△103
合計	431	171	△260

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却件数>

単位：件	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
投資用不動産	-	1	+1

セグメント情報（その他の事業）



単位：百万円	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	33,161	40,197	+7,035 (+21.2%)		42,400	△2,202 (△5.2%)	
ホテル業	5,277	7,842	+2,565	(+)稼働回復	8,400	△557	
レストラン飲食業	5,343	7,180	+1,836	(+)利用者数の回復	8,200	△1,019	(△)感染再拡大による回復の遅れ
その他	22,540	25,174	+2,633	(+)リゾート人材派遣需要回復	25,800	△625	(△)広告・旅行需要回復の遅れ (+)リゾート人材派遣需要回復
営業利益	△5,741	△2,553	+3,187 (-)		△2,900	+346 (-)	
ホテル業	△4,566	△3,179	+1,387		△3,000	△179	
レストラン飲食業	△1,043	△178	+865		100	△278	
その他	△130	803	+934		0	+803	
設備投資額	511	3,369	+2,858				
減価償却費	2,080	1,863	△217				

<ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
ハイアット リージェンシー 東京	22.1%	25.2%	+3.1P
ホテルセンチュリーサザンタワー	9.0%	12.9%	+3.9P

<ホテル業：客室稼働率>

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減
ハイアット リージェンシー 東京	16.2%	50.1%	+33.9P
ホテルセンチュリーサザンタワー	22.6%	42.6%	+20.0P
山のホテル	29.7%	52.2%	+22.5P
箱根ハイランドホテル	31.7%	47.9%	+16.2P
はつはな*	34.2%	4.5%	△29.7P

※ 「はつはな」は 2022年1月4日から工事のため休業、9月11日にリニューアルオープン。

- 今回の連結業績予想は、第2四半期までの業績を踏まえたほか、第3四半期以降については感染者数の減少等により各事業において一定の需要回復が予想されるものの、4月に公表した業績予想を下回ると見込み、営業収益、営業利益および経常利益を修正しています。
- 一方、第2四半期までに計上した固定資産売却益等を織り込んだことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を据え置いています。

<主な事業の営業収益（対4月時点見込）>

		下期見込 対4月時点見込	下期見込修正の 主な要因	(参考) 上期実績 対4月時点見込
運輸業	小田急電鉄 鉄道事業	据え置き	—	△3.9%
	バス業	4月時点見込並み	—	△2.8%
	箱根エリア ※ ホテル業の一部を含む	△6%程度	(△) 回復の遅れ	△20.1%
流通業	百貨店業	△5%程度	(△) 回復の遅れ	△12.1%
	ストア・小売業	△4%程度	(△) 内食需要の減退	△4.2%
その他の 事業	ホテル業	4月時点見込並み	—	△6.6%
	レストラン飲食業	△8%程度	(△) 回復の遅れ	△12.4%

※ 実際の感染拡大の状況や消費動向等により当業績予想は大きく変動する可能性があります。今後の動向を踏まえ、当業績予想について修正が必要となる場合には速やかに開示します。

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減	4月時点見込	増減
営業収益	358,753	391,400	+32,646 (+9.1%)	401,100	△9,700 (△2.4%)
運輸業	131,207	151,000	+19,792	154,600	△3,600
流通業	100,853	95,900	△4,953	101,400	△5,500
不動産業	80,946	83,800	+2,853	82,600	+1,200
その他の事業	74,143	89,000	+14,856	91,300	△2,300
調整額	△28,397	△28,300	+97	△28,800	+500
営業利益	6,152	19,600	+13,447 (+218.6%)	24,600	△5,000 (△20.3%)
運輸業	△5,491	6,100	+11,591	11,400	△5,300
流通業	1,695	△500	△2,195	700	△1,200
不動産業	18,570	17,200	△1,370	15,900	+1,300
その他の事業	△8,668	△3,200	+5,468	△3,400	+200
調整額	46	0	△46	0	-
経常利益	4,699	18,300	+13,600 (+289.4%)	22,300	△4,000 (△17.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	12,116	10,000	△2,116 (△17.5%)	10,000	- (0.0%)
設備投資額	64,693	78,100	+13,406	78,100	-
減価償却費	49,363	48,300	△1,063	48,300	-
有利子負債残高	756,537	759,100	+2,562	759,100	-

セグメント別業績予想 (運輸業)



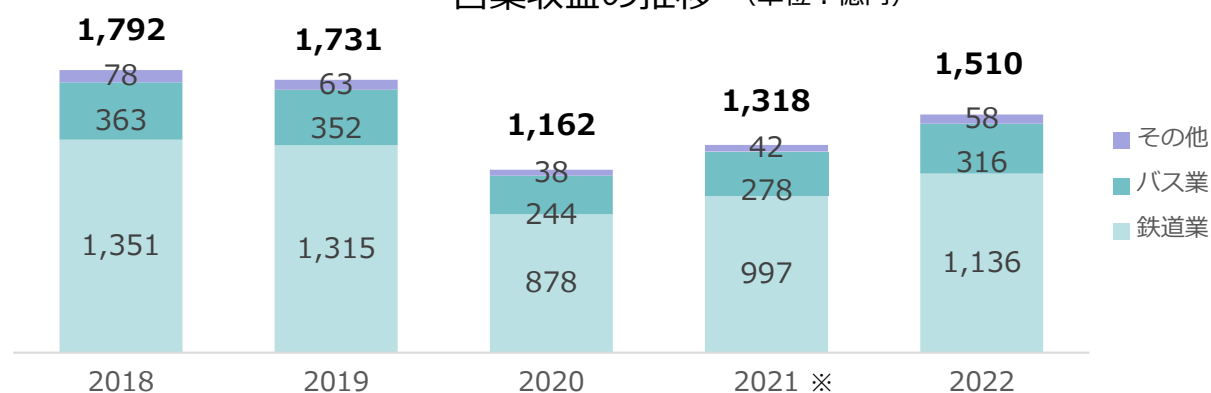
単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	131,207	151,000	+19,792 (+15.1%)		154,600	△3,600 (△2.3%)	
鉄道業	99,086	113,600	+14,513	(+)当社定期外収入の回復 +9,308	116,200	△2,600	(△)感染再拡大による回復の遅れ
バス業	27,865	31,600	+3,734		32,100	△500	
その他	4,254	5,800	+1,545		6,300	△500	
営業利益	△5,491	6,100	+11,591 (-)		11,400	△5,300 (△46.5%)	
鉄道業	△816	6,700	+7,516		11,200	△4,500	(△)動力費の増加
バス業	△3,201	△300	+2,901		100	△400	
その他	△1,472	△300	+1,172		100	△400	
設備投資額	28,469	36,300	+7,830		36,300	-	
減価償却費	32,830	31,500	△1,330		31,500	-	

<箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減
箱根エリア*	11,215	16,279	+5,064

* 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

営業収益の推移 (単位：億円)



※ 会計方針変更前

セグメント別業績予想（運輸業）



<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2021年度	2022年度	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	349,917	389,856	+39,939	(+11.4%)	(△18.4%)
通勤定期	257,710	279,021	+21,311	(+8.3%)	(△20.1%)
通学定期	92,207	110,835	+18,628	(+20.2%)	(△13.7%)
定期外	230,695	264,546	+33,851	(+14.7%)	(△8.0%)
合計	580,612	654,402	+73,790	(+12.7%)	(△14.5%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	35,618	38,693	+3,074	(+8.6%)	(△20.0%)
通勤定期	30,963	32,987	+2,023	(+6.5%)	(△21.0%)
通学定期	4,654	5,705	+1,050	(+22.6%)	(△13.5%)
定期外	52,991	62,299	+9,308	(+17.6%)	(△9.6%)
旅客運輸収入計	88,609	100,992	+12,382	(+14.0%)	(△13.9%)
運輸雑収	3,376	3,006	△370	(△11.0%)	(△20.9%)
運輸収入合計	91,986	103,998	+12,012	(+13.1%)	(△14.1%)

■ 営業費

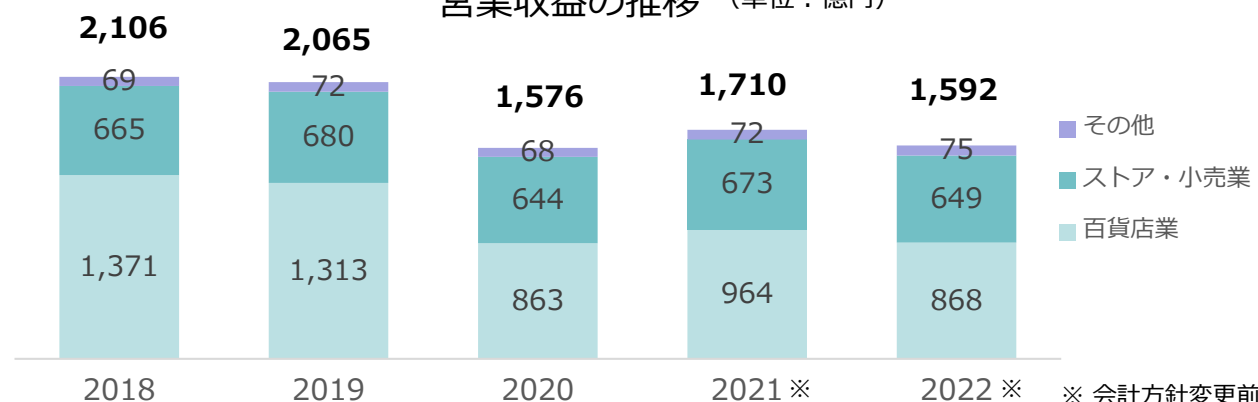
単位：百万円	2021年度	2022年度	増減
営業費合計	91,139	97,133	+5,993
人件費	24,695	26,330	+1,634
修繕費	6,855	7,395	+539
動力費	5,106	7,948	+2,841
固定資産除却費	1,362	1,490	+127
減価償却費	25,583	24,917	△665
その他	27,534	29,050	+1,515

セグメント別業績予想 (流通業)



単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	100,853	95,900	△4,953 (△4.9%)		101,400	△5,500 (△5.4%)	
百貨店業	32,115	29,600	△2,515	(△)新宿店売場縮小 (2022/10/3~) (+)利用者数の回復	32,500	△2,900	(△)感染再拡大による回復の遅れ
ストア・小売業	61,527	58,800	△2,727	(△)ベーカリー事業の営業終了 (+)駅構内コンビニの利用者数回復	61,400	△2,600	(△)内食需要の減退
その他	7,210	7,500	+289		7,500	-	
営業利益	1,695	△500	△2,195 (-)		700	△1,200 (-)	
百貨店業	1,264	△1,400	△2,664	(△)新宿店リニューアル関連費用の発生	△700	△700	
ストア・小売業	462	800	+337	(+)ベーカリー事業の営業終了	1,300	△500	
その他	△31	100	+131		100	-	
設備投資額	1,657	7,600	+5,942		7,600	-	
減価償却費	2,730	2,800	+69		2,800	-	

営業収益の推移 (単位：億円)



セグメント別業績予想（不動産業）



単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	80,946	83,800	+2,853 (+3.5%)		82,600	+1,200 (+1.5%)	
不動産分譲業	37,427	40,000	+2,572	(+)投資用不動産の売却 (△)計上予定戸数減	39,000	+1,000	(+)販売価格の上昇
不動産賃貸業	43,519	43,800	+280		43,600	+200	
営業利益	18,570	17,200	△1,370 (△7.4%)		15,900	+1,300 (+8.2%)	
不動産分譲業	3,529	2,900	△629	(△)計上予定戸数減	1,400	+1,500	
不動産賃貸業	15,040	14,300	△740	(△)新規開業物件費用増	14,500	△200	
設備投資額	32,875	28,600	△4,275		28,600	-	
減価償却費	9,707	10,200	+492		10,200	-	

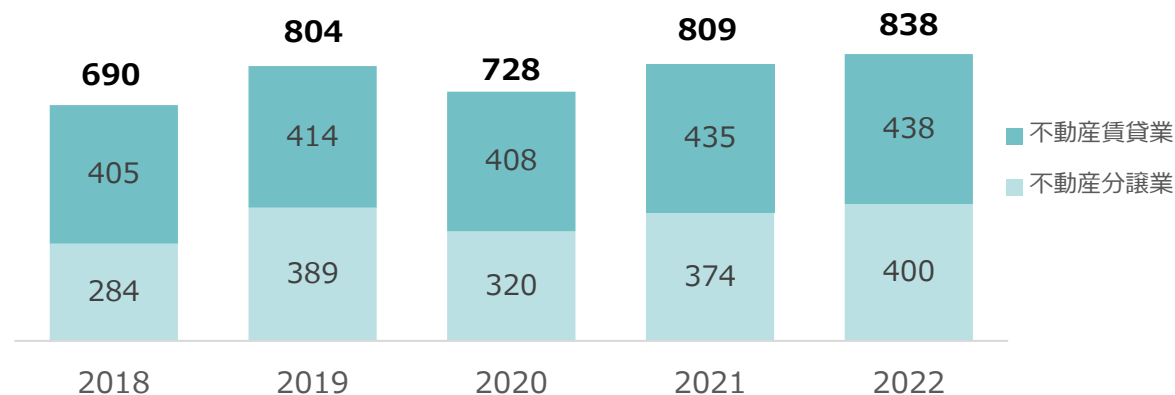
<不動産分譲業：小田急不動産 計上予定戸数>

単位：戸・区画	2021年度	2022年度	増減
戸建	66	86	+20
マンション	413	111	△302
土地	148	35	△113
合計	627	232	△395

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却予定件数>

単位：件	2021年度	2022年度	増減
投資用不動産	-	5	+5

営業収益の推移（単位：億円）

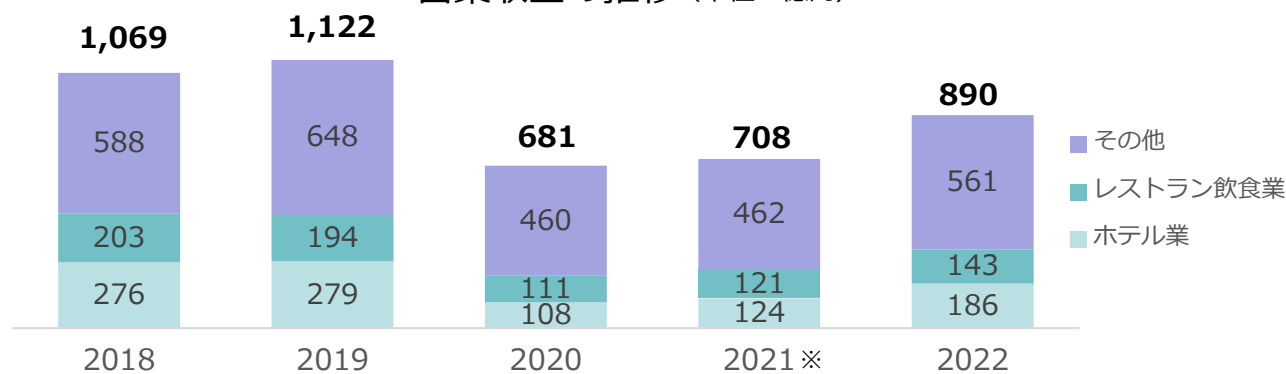


セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	74,143	89,000	+14,856 (+20.0%)		91,300	△2,300 (△2.5%)	
ホテル業	12,342	18,600	+6,257	(+)稼働回復	19,300	△700	
レストラン飲食業	12,115	14,300	+2,184		15,900	△1,600	(△)感染再拡大による回復の遅れ
その他	49,685	56,100	+6,414	(+)リゾート人材派遣需要回復	56,100	-	(+)リゾート人材派遣需要回復 (△)広告・旅行需要回復の遅れ
営業利益	△8,668	△3,200	+5,468 (-)		△3,400	+200 (-)	
ホテル業	△7,779	△4,300	+3,479		△4,100	△200	
レストラン飲食業	△1,500	△300	+1,200		200	△500	
その他	612	1,400	+787		500	+900	
設備投資額	1,690	5,600	+3,909		5,600	-	
減価償却費	4,170	3,800	△370		3,800	-	

営業収益の推移（単位：億円）



※ 会計方針変更前

■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社